

Kcカール

『熟成ケラチンカール 基本プロセス』

“アペティート研究会提供”

Kcカールとは・・・。

ケラチンをたっぷり配合したコスメ系のカーリング剤

(ケラチン+シス・チオ・サルファイトのハイブリット)



① プレシャンプー (毛髪診断)

② カット&前処理(インテンシブ0+)

損傷部、やハリ、コシのほしい部分にインテンシブケア0+をハケで塗布し良く揉み込む。

③ KCカール塗布

KCカールNを使用します。

※塗布量は**全体使用量の約半分**を髪全体に塗布！！

④ 熟成タイム

熟成処理 **ラップをして7～8分自然放置。**

☆新生部と中間～毛先の条件を整えます。

熟成とは・・・。

新生部に薬液を浸透させると同時に、ケラチンをしっかり馴染ませ、かかりにくい部分のプレ軟化も併わせ、髪の条件を整えます。
※KCカールはコスメ系で、ゆっくり反応します。(熟成が必要)
※カラーのリタッチや縮毛矯正の軟化と同じように考えてください。

⑤ ワインディング

⑥ KCカール残量塗布

KCカールNの残液を使用してください。

※太いロッドの場合、ロッド裏側もしっかり塗布し、薬剤のムラが無いよう注意してください。

⑦ 放置タイム

放置タイム **7～8分自然放置。**

⑧ テストカール(カールチェック)

⑨ 中間水洗

⑩ クリープ化

放置タイム **5分自然放置。**

⑪ 中間酸リンス

Aパープルローションをアプリーターで全体塗布。

⑫ 2液処理(KCカール2液使用)

放置タイム **7分+7分の2度づけ。**

⑬ ロッドアウト

⑭ 毛先処理

A-ZEROを毛先中心に軽く揉み込んでください。

⑮ プレーンリンス、仕上げ

